

第16回全国消防救助シンポジウムの開催

国民保護・防災部参事官付

平成25年12月13日（金）、「複雑・多様化する救助事案への対応能力の向上を目指して」をテーマに、第16回全国消防救助シンポジウムを東京都千代田区において開催しました。

大石利雄消防庁長官の開会挨拶（次頁に掲載）の後、奈良県立医科大学救急医療講座高度救命救急センター講師の畑倫明氏に「本当に怖い惨事ストレス～JDR国際緊急援助隊派遣体験談～」について、また、心臓血管センター北海道大野病院医学博士循環器内科医師の大城和恵氏に「山岳遭難における偶発性低体温症～事例に学ぶ現場での対応～」について、それぞれ講演を行っていただきました。

午後は、以下のとおり特別報告及び6件の事例研究発表が行われました。

【特別報告】

日原 仁司 氏（東山梨消防本部）

「中央自動車道上り線笹子トンネル天井板崩落事故における救助活動報告」

【事例研究発表】

立石 義孝 氏（東京消防庁）

「救助活動における大型空気式救助器具（エアマン）を活用した活動効果と能力検証について」

田口 良幸 氏（川崎市消防局）

「タワー型機械式立体駐車場における救助活動について」

松尾 武明 氏（大阪市消防局）

「大阪市消防局が提案するRA連携について」

小林 謙 氏（鳥取県西部広域行政管理組合消防局）

「より実践的な訓練環境を求めて
～現場対応能力の向上と創造力の養成を目指し～」

松田 智志 氏（岡山市消防局）

「より安全な救助活動空間の確保について」

中村 敏一郎 氏（那覇市消防本部）

「シャトルレスキュー考案からの気づき」

続いて行われた総合討論では、講演者、特別報告者、事例研究発表者、更には会場の皆様を交えて「複雑・多様化する災害に如何に対処していくべきか」をテーマに活発な意見交換が行われました。

本シンポジウムは、全国各地から約2,000人の消防職

員が参集し、お互いの経験や新たな取組みに関する活発な情報の共有化が図られ、大変活気のある有意義なものでした。本シンポジウムが我が国の救助体制のなお一層の充実に寄与することを期待します。



畑 倫明氏の講演



大城 和恵氏の講演



総合討論

大石消防庁長官の開会挨拶

第16回全国消防救助シンポジウム開催に当たり一言御挨拶申し上げます。

全国各地から2千名を超える多数の消防関係機関の方々をお迎えして、このシンポジウムを開催できますことに心から御礼申し上げます。

東日本大震災を契機として、国民の防災意識は大きな高まりを見せております。また、首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模地震の発生が危惧される中で、消防に対する国民の期待は益々大きくなっています。とりわけ、レスキュー隊に寄せられている信頼には特別なものがあります。

振り返れば、平成16年の新潟県中越地震に際して、緊急消防援助隊の救助チームが、2歳の男の子を地震発生後約93時間振りに土砂の中から救出したシーンは国民から大きな賞賛を受けました。また、東日本大震災においては、全国から3万人を超える隊員が緊急消防援助隊として出動し、地元の消防と協力して5千人を超える方々を救助・救出しました。特に福島第一原子力発電所3号機の使用済み核燃料プールへの放水活動は、多くの国民に勇気と感動を与えてくれました。これらの活躍は、ひとえに日頃の厳しい訓練のたまものであり、深く感謝いたします。

本年夏は、各地で記録的な豪雨が発生しました。また、10月には台風26号が伊豆大島を襲い大きな被害をもたらしました。被災地では緊急消防援助隊をはじめ数多くの消防職団員が懸命な救助活動を行いました。また、11月の秋田県由利本荘市の土砂崩れの現場においても、連日消防職団員が救助活動に活躍しました。このように複雑化、多様化する災害において、困難な状況の中で日夜消防活動が行われています。

消防庁といたしましては、石油コンビナート災害に特化した即応部隊を創設するなど緊急消防援助隊の機能強化を図るとともに、Jアラートの自動起動機整備や消防救急無線のデジタル化の促進など消防防災通信基盤を拡充し、併せて消防団等の地域防災力を強化することにより、着実に消防防災体制を整えて参る所存であります。それぞれの消防本部におかれましても、平素から備えをより強固なものとし、万全な体制をとっていただきますことをお願い致します。

本日のシンポジウムは、「複雑・多様化する救助事案への対応能力の向上を目指して」というテーマを掲げています。救助能力の向上に大いに寄与するシンポジウムになることを期待しております。

結びに全国の消防関係機関のますますの御発展と関係各位の御健勝を祈念しまして、挨拶といたします。



大石消防庁長官の開会挨拶

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付 加藤
TEL: 03-5253-7507